

令和6年3月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和6年3月26日(火)午後2時00分開会
午後4時00分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回、前々回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第6号から議案第14号
日程第7 協議及び報告事項 協議第2号
報告第6号から報告第8号
日程第8 その他

○会議に出席した委員(4名)

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中野文雄	4番	三木尚美

○説明のため出席した者(10名)

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部参事	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	教育総務課担当課長	久保修一
学校教育課長	田中仁朗	教育支援課長	市原敦
教育研修所長	小山恵介	学校給食課長	廣瀬敏彦
幼児教育振興課長	藤田崇宏	文化スポーツ課長	下山一彦

○会議に関係した事務局員(2名)

教育総務課 靱井清陽
清家梨奈子

○会議録署名委員

教育長 鹿嶽昌功
教育委員 中野文雄

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和6年3月第304回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回、前々回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回、前々回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和6年2月26日教育委員会定例会会議録により説明)
(令和6年3月18日教育委員会臨時会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。
会議録署名委員は、3番 中野文雄 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和6年3月26日火曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

本年度最後の定例会となりました。教育委員の皆さんには1年間お世話になりました。ありがとうございました。
今年度は新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、感染対策を行ないながらもコロナ禍以前のような教育活動が展開できた1年でした。一方、インフルエンザなどの流行により学級閉鎖など例年にも増して対応に追われた年でもありました。中学3年生の入試の時期でもあり心配しておりましたが、特に大きな影響もなかったと聞いております。

現在は落ち着きを取り戻し、4月からの新年度は安心できる1年であってほしいと願っております。

それでは、前回の定例会以降の活動について報告いたします。

1) 令和6年3月三田市議会定例会(第375回)

2月19日に開会した3月三田市議会ですが、3月4日、5日の2日間にわたって各会派代表による代表質問がありました。教育委員会には4会派からの質問がありました。学校再編、不登校対策、外国籍児童生徒への支援、学校給食、部活動、教職員の多忙化解消、小中一貫教育といった質問でした。詳細については後程報告いたします。

また、新年度予算案に対する常任委員会での審査が13日及び15日にありました。

今回は学校給食費の保護者負担金を見直した学校給食費徴収条例の改正も提案していますが、最終日は28日となっており、当議案も含めてすべての議案に対して議決いただけるものと考えております。

2) 小中学校卒業式(3/14、3/22)

3月14日、藍中学校の卒業式に行ってきました。50名の卒業生は、保護者の皆さんや在校生のもと、一人一人への卒業証書授与と校長の式辞、送辞、答辞、卒業生による合唱など従来の卒業式の形で進められました。本年度より県立高校の入試後に卒業式が開かれ、子どもたちの気持ちも卒業のみに落ち着いてできたのではないかと思います。

また、3月22日には藍小学校の卒業式に来賓として参加しました。14名の卒業生でしたが、卒業証書授与のあと一人一人将来の夢を言ってくれました。校長式辞の後、卒業生と5年生の呼びかけや歌もあり、参加保護者の制限もなく温かい雰囲気での卒業式でした。

これから新しいステージで頑張ってもらいたいと思います。

今回はこの2点です。3月18日に臨時教育委員会を開催し、管理職員の人事異動について協議いただき、21日の臨時校長会で管理職を含むすべての教職員の異動内示を行いました。

学校長については小学校7名、中学校2名の9名が本年度限りで校長の職を離れられることとなります。約1/3の校長が校長職から退かれ、本年度は非常に多くの校長とお別れす

ることになりました。毎回定例会で学校での様子を報告いただきました細見校長、福本校長も今日で最後となります。本年度から定年年齢が61歳となりましたが、校長としての役職は本年度限りです。お二人についてはこれまで、三田の教育推進にご尽力いただき本当にありがとうございました。これからもお元気で、そして三田の子どもたちの育ちにご支援いただければと思っています。
私からは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。
(1) 学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めることについて【三田市教育委員会事務委任規則第1条第1号関係】議案第6号「『三田市の学校・園における食育推進計画』の改定について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

議案第6号「『三田市の学校・園における食育推進計画』の改定について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

デジタル食育という新しい言葉がクローズアップされていますが、食育とは知識よりも心情的な部分がとても大事だと思います。今回の計画においてデジタル食育が2本の柱の大部分を占めていると思いますが、教育委員会として食育担当に指導等を進めるにあたり、食育推進計画の現場での活用方法などどのように考えていますか。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

4ページに「デジタル食育×リアル体験」とあります。この2つが相互に関係するような食育推進を考えています。1点目はオンラインミーティングを利用した他者とのコミュニケーションを考えています。ICTを活用して生産者と消費者がつながる活動や、企業との連携などを進めてまいります。2点目は、デジタルコンテンツを自ら利用して、動画の閲覧や、ウェブページやアプリを利用し自分で調べたものを目で

見て、実体験で活用していくことを進めていきたいと考えています。3点目は、オンラインツールを利用した交流活動です。子どもたちが自分で作った料理を遠く離れた生産者の方々に見ていただいたり、学校間で発表し合うなど交流の場に繋げていけたらと考えています。

○教育委員
(中野 文雄)

IT技術を使って効果的な学習を進めていくことが可能だとわかりました。今後、食育担当の先生はカリキュラムの中にどう取り入れていくのかを検討し、上手に取り入れながら食育推進を進めていただければと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第7号「三田市子どもの読書活動推進計画（第4次）の策定について」事務局より説明をお願いします。

○教育研修所長
(小山 恵介)

議案第7号「三田市子どもの読書活動推進計画（第4次）の策定について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

これまでも丁寧な取組がある中で、読書活動が定着しにくい子どもが一定数いるということはデータ上にも表れているようですが、子どもが多様化しているということも理由としてはあると思います。読書に向かいにくい子どもにはどのような傾向があるのか、教育委員会や学校等が連携して理解していくことが大事であり、そのうえでどの子どもも読書へアクセスできる条件整備をしてもらえたらと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

以前、市立図書館の活用について協議した際にもお話ししましたが、図書館側から学校園に対してどのような働きかけをしてもらえるのか、効果的に活用してもらえるような提案をお願いしていました。社会全体がデジタル化していく中で、本に触れることが幼児期から少なくなっています。絵本より動画へと時代が流れつつある中で、幼児期からの子育て支援の一環として、市立図書館や読書活動推進計画がどう活用されていくのか何か構想があれば教えてください。

○教育研修所長
(小山 恵介)

子どもたちが本に触れる機会は、幼児期から学童期、青年期へと成長と共に積みあがっていくものです。読書活動推進計画は、15歳までの子どもを対象としていますが、子どもたちの発達段階の場で本に触れる機会を効果的に提供していくことを考えています。9か月検診のブックスタート事業にはじまり、幼稚園・保育園の段階でも園での取組を進めています。そこから小学校へどう繋いでいくかが大事になると思います。

○教育委員
(中野 文雄)

家庭の役割がとても大事になると思います。ブックスタート事業も是非活用していただきたいです。読書との関わりにおいては、お父さん、お母さんがこれまでどのように本と向き合ってきたか、本との出会いなど経験してきたことが大きく影響してくると思います。今後は保健センターとも連携しながら市全体として読書活動推進計画を運用していただけたらと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

多様な子どもたちへの読書環境を充実していただきたいと思っています。支援級の子どもたち向けに本を選んでいただいたりしますが、障害のある子どもたちも一般の図書館にあるようなたくさんの本に触れる機会を増やしていただくことで、読書への意欲や本への関心が膨らむのではないかと思います。最近では、ユニバーサル的な本も出ているようですので、五感を使って本を身近に感じたりできるような幅広い本に触れる機会を増やしていただけたらと思います。また、学校司書

の先生がおすすめの本を提案してくれたり、子どもたちがどの本を読もうか迷っているときなど、フレンドリーに話しかけてくださることで子どもたちが良い本に出会えるきっかけになると思いますので、司書の先生には日頃から積極的に子どもたちに声をかけていただけたら良いと思います。

○教育研修所長
(小山 恵介)

多様な子どもたちへの読書活動は大事だと考えています。市立図書館では取組が進んでいまして、18ページにありますように視覚障害のある子どもたちには大活字本や音声読み上げ機能付き電子書籍の提供などが導入されています。また、日本語を母語としない子どもが本に親しめるように、外国語の本や優しい日本語の資料も提供しています。現在、学校司書は10人配置しています。2校に1人の配置となっておりますが、小学校1年生から4年生の子どもたちに読書の時間を設け読み聞かせを行い、本が好きになるような取組を実施していただいています。令和6年度からは中学校にも学校司書を1人追加することになっています。

○教育委員
(中野 文雄)

学校司書は今後も増やしてほしいと思います。学校司書の先生は本が好きで、子どもたちへ読書の良さをどのように伝えていけばいいかと考える方ばかりなので、可能であれば各校1人配置していただくことがデジタル化への対応や計画を推進していくうえでは大切だと思います。また、子どもの読書活動推進計画策定委員の名簿を見ますと、社会教育担当の方はいますが、福祉関係の方が1人も入っていません。就学前の子どもに対してブックスタート事業等の計画を推進していくのであれば、福祉に精通した委員も入れておくべきと考えますがいかがでしょうか。

○教育研修所長
(小山 恵介)

その通りだと思いますので、次回第5次の計画策定時への引継ぎ事項とさせていただきます。

○教育委員
(大野 裕己)

学校司書という専門の方だけでなく、ボランティアの方々も学校へ入って読書活動への理解を深めながら取組を進めていくことが求められていると思います。学校司書の専門的な視点ももちろんですが、学校運営協議会も活用しながらボラン

	<p>ティアの方々にもご協力いただき円滑に進めていただきたいと思います。</p>
<p>○教育研修所長 (小山 恵介)</p>	<p>ボランティアの方々にはさまざまな人材がおられますので、お力をお借りしながら読書活動を推進してまいります。</p>
<p>○教育長 (鹿嶽 昌功)</p>	<p>他にご意見等ございますか。 なければこのように承認します。</p>
<p>○教育長 (鹿嶽 昌功)</p>	<p>議案第 8 号「三田市学校給食費徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>○学校給食課長 (廣瀬 敏彦)</p>	<p>議案第 8 号「三田市学校給食費徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明</p>
<p>○教育長 (鹿嶽 昌功)</p>	<p>何かご質問等ございますか。 なければこのように承認します。</p>
<p>○教育長 (鹿嶽 昌功)</p>	<p>議案第 9 号「三田市立認定こども園条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>○幼児教育振興課長 (藤田 崇宏)</p>	<p>議案第 9 号「三田市立認定こども園条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明</p>
<p>○教育長 (鹿嶽 昌功)</p>	<p>何かご質問等ございますか。 なければこのように承認します。</p>
<p>○教育長 (鹿嶽 昌功)</p>	<p>議案第 10 号「三田市教育委員会事務局の組織及びその事務管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事</p>

- 務局より説明をお願いします。
- 教育総務課長
(井上 尚博) 議案第10号「三田市教育委員会事務局の組織及びその事務管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 議案第11号「三田市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程の一部を改正する訓令の制定について」事務局より説明をお願いします。
- 教育総務課長
(井上 尚博) 議案第11号「三田市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程の一部を改正する訓令の制定について」事務局より説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 議案第13号「三田市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職名に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明をお願いします。
- 教育総務課長
(井上 尚博) 議案第13号「三田市教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職名に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局より説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功) 何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第 14 号「三田市教育委員会事務処理規程の一部を改正する規程の制定について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

議案第 14 号「三田市教育委員会事務処理規程の一部を改正する規程の制定について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

議案第 12 号「学校園医、園歯科医及び学校園薬剤師の解嘱と委嘱について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育課長
(田中 仁朗)
○幼児教育振興課長
(藤田 崇宏)

議案第 12 号「学校園医、園歯科医及び学校園薬剤師の解嘱と委嘱について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

日程第 7 協議及び報告事項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして協議事項に移ります。
協議第 2 号「三田市人権を考える会にかかる役員等の選出について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

協議第 2 号「三田市人権を考える会にかかる役員等の選出について」事務局より説明
(事務局案として人権を考える会の常任理事を三木委員、代議員を大野委員と中野委員、三田市明るい選挙推進協議会を大野委員、三田市居住環境等保全審査会の中上委員退任後を中村委員で提案)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

事務局案のとおり人権を考える会の常任理事を三木委員、代議員を大野委員と中野委員、三田市明るい選挙推進協議会を大野委員、三田市居住環境等保全審査会の中上委員退任後の任期を中村委員で決定したいと思いますがいかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございます。それでは提案どおり決定したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第6号「令和6年度社会教育関係団体補助金交付金に関する三田市生涯学習審議会の意見について」事務局より説明をお願いします。

○文化スポーツ課長
(下山 一彦)

報告第6号「令和6年度社会教育関係団体補助金交付金に関する三田市生涯学習審議会の意見について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

報告第7号「第375回定例会市議会(3月定例会)一般質問について」事務局より説明をお願いします。

○学校教育部長
(浅野 晋司)

報告第7号「第375回定例会市議会(3月定例会)一般質問について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長

報告第8号「4月教育委員会開催行事予定について」事務局

(鹿嶽 昌功)

より説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第8号「4月教育委員会開催行事予定について」事務局より説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、4月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他の報告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、4月の教育委員会定例会の日程について事務局
からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

4月教育委員会定例会の開催日時は令和6年4月24日
(水)午後2時00分から、南分館601会議室で予定して
います。よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの今年度最後の報告です。
よろしくお願いいたします。

○中学校校長代表
(細見 和孝)

○卒業証書授与式

3月14日、すべての中学校で卒業式を行いました。できる
限りの時間短縮を心がけながらではありませんでしたが、ようやく
コロナ禍以前と同じような卒業式に戻すことができました。
来賓をお招きし、保護者と在校生に見守られ、ピアノの伴奏
で歌を歌う卒業式が、実に5年ぶりに戻ってきました。それ
でも、やはり心に残るのは、卒業証書を受け取る時の卒業
生の表情です。私は、幸せなことに、入学から卒業までの3
年間の成長過程を間近で見ることができました。入学式で
は、まだあどけなかつた表情が、試行錯誤と創意工夫のコロ
ナ禍を経て、卒業式では、笑顔の中に「自信」と「誇り」に
満ちた表情が輝いていました。式の締めくくりには『旅立ち
の日に』を卒業生と在校生と職員で合唱しました。涙にむせ
びながらも懸命に歌おうとする姿は、次のステージでの奮闘

を誓う強い意志があふれており、今もまぶたに焼き付いています。当日の式に出席できなかった卒業生と保護者には、「第2卒業式」「第3卒業式」を催し、校長から卒業証書を手渡して旅立ちを祝いました。また、今年度の大きな変更点は、卒業式の日程を公立高校入試の後にしたことです。これにより、生徒はもちろんのこと、保護者からも、「落ち着いて、穏やかな気持ちで卒業式に出席することができました」と、うれしい言葉をいただきました。

○公立高等学校入学者選抜学力検査

その公立高校の一般入試ですが、3月12日に実施、19日に合格発表があり、3年生の進路先が決定しました。小学校から積み重ねてきたキャリア学習を活かして、自ら選択した進路で将来を切り拓いていってくれることでしょう。1、2年生は、昨日修了式を終えました。3年生が築いてきた伝統をしっかりと引き継ぎ、次の学年で益々活躍してくれることと思います。新たに学校のリーダーとなった2年生は、新入生を迎え入れる準備をさっそく始めているところです。

○1年間を振り返って

この1年間を振り返りますと、中学校にとって大きな山が動き出したと感ずることは、何と云っても「部活動の地域移行」についてです。尻すぼみと感ずざるを得ない文科省の方針をよそに、兵庫県の先頭に立って改革を推し進めていく三田市教育委員会の熱量の大きさに、心より敬意を表しますとともに、とても心強く感じております。何をおいても、すべての生徒に平等に活動機会を与え、持続可能な活動にすべく熟慮していただいていることが嬉しくてなりません。また、教職員の働き方改革を考える上でも、避けては通れないところです。私たち中学校長会は、三田市とともに「部活動の地域移行」に向けて、これからも全力で取り組んでまいりますので、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

学校現場では、「部活動の地域移行」のみならず、不登校対策、「いじめ」問題、教職員不足、学校再編、小中一貫教育など、課題が山積しています。教育長はじめ教育委員の皆様、そして事務局の皆様には、いつも学校に寄り添い丁寧にご指導ご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。中学校長会は、これらの課題に真摯に向き合い、各学校で、また校長会で、組織的に

「学校改革」を推進していきます。令和6年度もどうぞよろしく願いいたします。

○小学校校長代表
(福本 八重歌)

○卒業証書授与式

小学校は、先週22日に卒業証書授与式を行いました。5月に新型コロナウイルス感染症による教育活動への制限が緩和され、4年ぶりに特別な制限を設けずに実施することができました。特に、保護者の人数制限を無くしたり、在校生や来賓としてお世話になった地域の方々に参加していただいたりすることができたことは、大変喜ばしいことでした。

本校では、185名が晴れの日を迎えましたが、当日全員に卒業証書を手渡すことができました。近隣の学校でも、全員参加で終わられたとの話を聞いており、止むを得ず出席を控えなければならぬ児童がいたコロナ禍からの変化を実感しました。小学校生活の半分以上がコロナによる制限の中で過ごした学年でしたが、卒業証書授与式のねらいを達成するために、当日だけでなく、その日に至るまでの練習に力を入れ、小学校生活の集大成となるよう取組を進めてきました。学校規模に応じて在校生が参加し、出席した全員で祝福し、そして見送りました。本校は大規模校であるため、在校生の参加は叶いませんでしたが、全員で式場の飾りを作り、お祝いしました。卒業生は堂々とした態度で卒業証書を受け取り、小学校生活の思い出や感謝の気持ちを言葉や歌で伝えました。立派に成長し、学校のリーダーとして活躍してくれた卒業生。私たち教職員にとっても、送る側の淋しさを感じつつも感慨深い1日となりました。

○修了式、新年度に向けて

3月25日に修了式を終えました。1年間の学びを経て、1年生から5年生のみんなも大きく成長し、通知表を渡す際には、担任から子どもたち一人一人にそのがんばりと成長を伝えました。春休みは、卒業生にとっては中学校進学への準備、1年生から5年生にとっては次の学年への進級の準備の期間です。健康と安全に気をつけて過ごすよう、各学級で指導をしました。教職員は、すでに新年度に向けて準備を進めています。子どもたちが期待と希望を持って4月を迎えられるよう、丁寧に取り組んでまいります。

最後になりましたが、この1年間、教育委員の皆様、教育委

員会事務局の皆様には多くのお力添えとご指導をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

7名が役職定年を迎え、4月からは新しい役員、新しいメンバーでの小学校長会となりますが、どうぞよろしく願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。